



木内 欽市 議員



### 高齢者福祉の充実について

**問** 公立の老人ホームを建設してもらいたい。

**答** 現在、市内には17の老人福祉施設がある。近隣の市と比較しても施設は充実しているものと考えている。このことから、公立の老人福祉施設の建設の予定はないが、今後は高齢者人口のピークに向けて多様なニーズに対応する必要がある。地域で柔軟に対応できる在宅支援の充実も図っていききたい。

**問** 今、学校の統廃合を行っており、廃校となる学校を使えばお金をそんなにかけずに公立の老人ホームも可能ではないか。

**答** 学校跡地の活用については、学校再編基本方針のほうで、避難所等の地域のコミュニティ施設、学童、集会所、福祉施設や民間活用などを想定している。地域のニーズを大切にし、まちづくりの観点から検討していきたい。

### 旭市の将来展望について

**問** 認定農業者の育成も大事だが、市の農産物の売り上げを支えているのは兼業農家。ぜひ兼業農家の育成も考えてもらいたい。

**答** 兼業農家については、農業以外の収入源があることや、経営規模が比較的小さいことなどから支援の対象にはなっていない。しかし、兼業農家であっても農業所得の目標が520万円を超える場合は、認定農業者として各種支援を受けることができる。また、新規に農業経営を始める方は、兼業であっても5年目に農業所得270万円を目指すことで認定新規就農者として各種支援が受けられる。

**問** 空き家を壊すのに補助金はあるが、ごみの処分料が高い。無料になれば解体費用が半分くらいで済むが、この辺の考えは。

**答** 空き家の除却、解体に対して、50万円の補助金がある。処分費の軽減については今のところないが、空き家になる前から所有者に対していろいろな働きかけが重要ではないかと考えている。

### その他の質問事項

○旭市の均衡ある発展について

## 議会運営委員会視察

議会運営委員会では、所管する事務に関する調査等のため、他の自治体の先進的な取り組み等について、行政視察を行っている。

令和6年11月13～15日 宮城県仙台市と山形県米沢市を視察

### 仙台市・米沢市の取り組みや施設を視察

#### 宮城県仙台市(防災環境都市づくりについて)

仙台市は東日本大震災の経験からしなやかで強靱な防災環境都市づくりをすすめており、自助・共助・公助の一体的な防災・減災の取り組みや地域防災リーダーの育成、防災教育の推進、防災枠組講座の開催、職員間伝承、防災未来フォーラム開催等、多くの取り組みを行っていた。中でも地域防災リーダーの育成については、平成24年から養成講習を開始し地域で防災に取り組む人を登録している。現在は約900名で活動しており、市民の防災意識の高さを感じた。

#### 山形県米沢市(議会運営と議会改革の取り組みについて)

米沢市では議会基本条例を制定し、議会報告会・意見交換会、常任委員会ごとの政策提言の実施、本会議や委員会での議員間討議の導入、委員会での請願審査における参考人招致、政務活動費の収支報告書等の公開を行っていた。議会報告会・意見交換会については、二元代表制の一翼を担う議会の役割を考えたとき、その実行性を高め市民との信頼関係を構築するための有効な手段かつ議会の透明性が図れる取り組みであり、議会基本条例の制定に関わらず出来ることから積極的に取り入れていくべきと感じた。

#### その他の視察地

- 震災遺構仙台市立荒浜小学校
- 仙台あおば青果



仙台市で取り組みの説明を受ける



仙台あおば青果を視察



米沢市で議会改革について伺う